

図書館の本だな

～1・2年生 おすすめの本のリスト 2022～

あしたもオカピ

齊藤 倫 作 偕成社 913-サ

オカピはシカやウマににいていますが、しましまがあしとおしりにあります。よく見るとちよつとだけつのもあるし、みょうにながいしたもあるふしぎなどうぶつです。そのよる、よつつにわれたようなよつば^{づき}月がでていました。オカピはしいくいんさんに、よつば^{づき}月のよるにはどうぶつたちのねがいがなんでもかなうとおしえてもらいます。

きつねのホイティ

シビル・ウェッタシンハ さく まつおか きょうこ やく 福音館書店 E-ウ

スリランカのちいさなむらのはずれのみに、くいしんぼうぎつねのホイティがすんでいました。あるばん、ホイティがなにかおいしいものはないかとむらにやってくると、アンゴウさんのいえからとてもいいにおいがします。ホイティがつばをのみこんでいえのうらてへまわると、ものほしばでせんたくものがかぜにはためいていました。

がちょうのペチューニア

ロジャー・デュボワザン 作 まつおか きょうこ 訳 富山房 E-デ

あるあさ、がちょうのペチューニアがくさちをあるいていると、じめんのうえにへんなものがおちていました。それは、ほんでした。ペチューニアは、パンプキンさんが「ほんというものはとてもだいじなもので、かしこくなるもの」といっていたことをおもいだし、じぶんもほんをもってだいじにすればかしこくなるとかながえました。

じゃんけんのすきな女の子

松岡 享子 さく 学研教育出版 913-マ

じゃんけんのとてもすきな女の子おんな こがいました。だれとでもあさからばんまでじゃんけんです。なにをいってもじゃんけんできめてばかりなので、おとうさんとおかあさんはすっかりはらをたてて、もうじゃんけんをしないといいました。ある夏なつ ひの日、女の子おんな こがおひるねをしていると、大きなねこおおが女の子おんな このからだの上うへをのりこえてへやの中なかへ入はいってきました。

けんかのたね

ラッセル・ホーバン 作 小宮 由 訳 岩波書店 933-ホ

ある日ひ、おとうさんが家いえにかえってくると、いぬのボンゾーがねこのプッスにほえ、四人よにんの子どもこたちが大げんかおおをしていました。お母さんかあは子どもたちこに大きな声おお こえで「やめなさい！」とさけんでいます。子どもたちこはけんかをやめません。おとうさんはお母さんかあに「いったいどうしたんだ？」とききました。

こぎつねコンとこだぬきパン

松野 正子 文 二俣 英五郎 画 童心社 E-フ

つばき山やまにすんでいるこぎつねコンがうたいながらあそんでいました。うたは「あのこにあげよ…」でおわります。コンがおかあさんに「あのこって、だあれ？」ときくと、おかあさんはともだちのことだとおしえてくれました。つばき山やまにはコンたちかぞくのほか、きつねはだれもすんでいません。コンはともだちをさがしにいくことにしました。

おそばのくきはなぜあかい

石井 桃子 文 初山 滋 え 岩波書店 E-ハ

おおむかし、くさや木きがまだくちをきいていたころのおはなしです。ふゆのさむい日ひ、おそばとむぎがかわのそばではなしきをしていました。そこへ、ととったおじいさんがつえをついてやってきて、むぎとそばに、わたしをおぶってかわのむこうぎしへわたしてほしいといいました。

パンのかけらとちいさなあくま

内田 莉莎子 再話 堀内 誠一 画 福音館書店 E-ホ

あるひ、びんぼうなきこりが、ちいさなパンのかけらをきりかぶのうえにおいてしごとをしていました。そこへちいさなあくまが、ひょっこりかおをだし、ひよいときこりのパンをさらってすみかにとんでかえってしまいます。ちいさなあくまが、きこりのパンをさらってきたことをとくいがおではなすと、おおきなあくまたちはかんかんになっておこりました。

おかし

なかがわ りえこ ぶん 福音館書店 596-ナ

なおきは3年生の男の子です。ドッジボールチームのキャプテンです。でも、ドッジボールより三度のごはんより「おかし」がもっと好きです。おかしは、ひとつひとつ色もかたちもちがうし、外国の名前のついたものもあります。おいわいや仲間などいろいろな役目があり、おとも子どももなかよくたのしく暮らせるように、おかしは、いっしょうけんめいくふうをしています。

なぞなぞあそびうた

角野 栄子 さく のら書店 911-カ

あな みつつ

ふたつに あしくぐり

ひとつに おなかくぐり

なぞなぞであそびませんか。わからないときは、声にだして読んでみましょう！本のうしろのページになぞなぞの答えものっています。